

第 1 期八千代市まち・ひと・しごと創生
総合戦略の総括

(案)

令和 4 年 3 月

企画部 企画経営課

1 第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について

第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）の総括は、計画期間（平成27年度から令和2年度）における取組を振り返り、課題や今後の対応を整理し、今後の施策の推進に活かしていくものです。

■ 重要業績評価指標（KPI）

第1期総合戦略に設定した重要業績評価指標（KPI）について、計画策定時における基準値、各年度における実績値、目標値、達成区分、重要業績評価指標（KPI）が掲載されているプロジェクト名称を記載しています。

なお、達成区分については、次の4段階を記載しました。

達成：目標値に到達したもの

向上：達成には至っていないものの計画策定時の基準値から目標値に近づいたもの

維持：計画策定時と変わらないもの

低下：目標値に対して基準値から遠ざかったもの

■ 取組内容

計画期間（6年間）における主な取組内容を記載しています。

■ 課題

重要業績評価指標（KPI）の最終的な結果を踏まえ、目標の達成に必要なことを記載しています。

■ 今後の対応

課題を踏まえ、令和3年度以降の取組などを記載しています。

2 第1期総合戦略の総括

(1) 重要業績評価指標(KPI)の達成状況一覧

○戦略Ⅰ～子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化～

・Ⅰ. 若い世代応援プロジェクト(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

No	重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度別実績					目標値	達成状況	
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
1	◆保育園待機児童数	42人 (H27.4.1)	53人	107人	144人	30人	31人	48人 (R3.4.1)	0人 (R3.4.1)	低下
2	◆学童保育所待機児童数	173人 (H27.4.1)	155人	111人	148人	100人	134人	49人 (R3.4.1)	0人 (R3.4.1)	向上
3	◆八千代市が子育てしやすいと感じている市民の割合	49.1% (H27年度)	49.1%	—	—	—	49.9%	43.7% (R2年度末)	55% (R2年度末)	低下
4	八千代市が活性化していると感じている市民の割合	22.3% (H27年度)	22.3%	24.0%	21.5%	23.5%	25.1%	25.9% (R2年度末)	30% (R2年度末)	向上
5	合計特殊出生率	1.36 (H26年)	1.45	1.44	1.36	1.40	1.34	1.35	UP (R2年)	低下

◆:数値目標・主要なKPI

・Ⅱ. 魅力創出プロジェクト(新しいひとの流れをつくる)

No	重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度別実績					目標値	達成状況	
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
6	◆新川周辺が活性化していると感じている市民の割合	40.0% (H27年度)	40.0%	45.4%	44.4%	46.1%	49.3%	51.4% (R2年度末)	50% (R2年度末)	達成
7	◆八千代市のイメージがよいと感じている市民の割合	65.5% (H27年度)	65.5%	67.2%	65.9%	66.9%	67.9%	74% (R2年度末)	69% (R2年度末)	達成
8	八千代市が活性化していると感じている市民の割合【再掲】	22.3% (H27年度)	22.3%	24.0%	21.5%	23.5%	25.1%	25.9% (R2年度末)	30% (R2年度末)	向上
9	市街地整備の誘導が適切に図られていると感じている市民の割合	23.7% (H27年度)	23.7%	—	—	—	27.8%	25.2% (R2年度末)	55% (R2年度末)	向上
10	緑豊かなまちと感じている市民の割合	76.7% (H27年度)	76.7%	—	—	—	79.7%	75.6% (R2年度末)	82% (R2年度末)	低下
11	子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じている市民の割合	59.5% (H27年度)	59.5%	—	—	—	62.5%	59.3% (R2年度末)	70% (R2年度末)	低下
12	観光案内・賑わいセンターの利用客数	0人 (H27年度)	0人	300人	6,488人	6,845人	625人	0人 (R2年度末)	14,400人 (R2年度末)	維持
13	まちづくり会社設立	0社 (H27年度)	0社	1社	1社	1社	1社	1社 (R2年度末)	1社 (R2年度末)	達成
14	地域の人材登録件数	0名 (H27年度)	0名	5名	12名	17名	17名	21名 (R2年度末)	20名 (R2年度末)	達成

◆:数値目標・主要なKPI

○戦略Ⅱ～仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ～

・Ⅲ. しごと応援プロジェクト(安定した雇用を創出する)

No	重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度別実績					目標値	達成状況	
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
15	◆工業の年間商品販売額	21,579,621万円 (H25年度)	21,579,621万円 (H25年度実績)	22,771,249万円 (H26年度実績)	25,068,059万円 (H27年度実績)	25,355,328万円 (H28年度実績)	25,980,449万円 (H29年度実績)	28,039,080万円 (H30年度)	KEEP (H30年度)	達成
16	◆ひとり親家庭の就業率	88.8% (H26年度)	90.7%	90.8%	91.5%	90.5%	91.6%	90.6% (R2年度末)	92% (R2年度末)	向上
17	認定農業者数	78人 (H26年度)	80人	86人	81人	84人	93人	95人 (R2年度末)	93人 (R2年度末)	達成
18	シルバー人材センター登録者数	600人 (H26年度末)	655人	648人	613人	631人	656人	621人 (R2年度末)	800人 (R2年度末)	向上

◆:数値目標・主要なKPI


・Ⅳ. 環境整備プロジェクト(時代に合った環境を整備し、地域を活性化する)

No	重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度別実績					目標値	達成状況	
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
19	◆地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	52.2% (H27年度)	52.2%	—	—	—	52.4%	52.5% (R2年度末)	60% (R2年度末)	向上
20	◆地域消防・救急体制が整っていると感じている市民の割合	44.2% (H27年度)	44.2%	41.8%	41.1%	41.9%	43.7%	53.2% (R2年度末)	50% (R2年度末)	達成
21	◆災害に備えた対策が適切に行われていると感じている市民の割合	19.0% (H27年度)	19.0%	22.1%	17.0%	18.0%	20.7%	32.6% (R2年度末)	33.9% (R2年度末)	向上
22	地域活動に積極的に参加していると考えられる人の割合	18.1% (H27年度)	18.1%	19.4%	17.5%	19.0%	19.2%	18% (R2年度末)	50% (R2年度末)	低下
23	公共交通不便地域における高齢者が移動しやすいと感じる割合	14.2% (H27年度)	14.20%	14.00%	12.20%	15.30%	17.50%	19.7% (R2年度末)	23.5% (R2年度末)	向上
24	防災・生活情報が得やすくなったと感じる割合	28.2% (H27年度)	28.20%	30.00%	25.80%	25.80%	27.80%	37.5% (R2年度末)	33.3% (R2年度末)	達成
25	住んでいる地域に犯罪が多いと感じている市民の割合	25.4% (H27年度)	25.40%	—	—	—	21.80%	23.8% (R2年度末)	DOWN (R2年度末)	達成
26	市街地整備の誘導が適切に図られていると感じている市民の割合【再掲】	23.7% (H27年度)	23.7%	—	—	—	27.8%	25.2% (R2年度末)	55% (R2年度末)	向上


◆:数値目標・主要なKPI

(2) 各プロジェクトに設定した重要業績評価指標(KPI)に対する取組内容・課題・今後の対応


(No.1)

重要業績評価指標(KPI)		◆保育園待機児童数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
42人 (H27.4.1)	53人	107人	144人	30人	31人	48人 (R3.4.1)	0人 (R3.4.1)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅰ.若い世代応援プロジェクト				
総括	取組内容	・平成27年度から令和2年度にかけて、保育所10園、小規模保育所6園、私立幼稚園5園の認定こども園への移行や既存園での定員拡大を実施し、合計1,163名の定員増を実施しました。							
	課題	・増員した定員に対して、緑が丘西の宅地造成等により、高津・緑が丘地区における保育ニーズの増加が予想を上回ったため、目標であった待機児童解消には至りませんでした。 ・より正確な保育ニーズの把握に向け、未就学児数の動向及び女性の就業率等保育ニーズに影響を与える要素を分析し、実態に応じた受け皿を確保していく必要があります。							
	今後の対応	・保育ニーズの高い1・2歳児が待機児童の大半を占めている一方、3歳以上児については、教育ニーズへの関心が高く、教育施設における定員も余裕があることから、保育施設は低年齢を中心に定員を拡大し、幼稚園における預かり保育を充実させることで、就労しながらでも利用しやすい教育と預かり保育の併用の利用促進を図っていきます。							


(No.2)

重要業績評価指標(KPI)		◆学童保育所待機児童数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
173人 (H27.4.1)	155人	111人	148人	100人	134人	49人 (R3.4.1)	0人 (R3.4.1)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅰ.若い世代応援プロジェクト				
総括	取組内容	・学童保育所における待機児童対策として、小学校敷地内での保育の提供を基本に余裕教室等を活用したほか、学校外施設の老朽化等による施設の継続利用や余裕教室等の確保が困難な場合には、小学校敷地内に単独施設を整備し、定員の拡大を図りました。 ○学童保育所の定員 平成27年4月時点 1,080人 平成28年4月時点 1,180人 令和 3年4月時点 1,750人							
	課題	・宅地造成などによる児童数の増加及び女性の社会進出に伴う新たな学童保育ニーズに対応する必要があります。 ・新たな学童保育所の整備に当たっては、将来的な児童数の減少も見据え、最適な整備手法について検討する必要があります。							
	今後の対応	・学童保育所待機児童の解消に向け、引き続き小学校敷地内での保育の提供を基本に、保育ニーズの的確な把握に努めながら最適な手法により定員の拡大を図ります。							


(No.3)

重要業績評価指標(KPI)		◆八千代市が子育てしやすいと感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
49.1% (H27年度)	49.1%	—	—	—	49.9%	43.7% (R2年度末)	55% (R2年度末)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅰ.若い世代応援プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における待機児童対策として、公募により民間保育園等を新たに整備し、入所定員の拡大を図りました。 ・八千代台地域における低年齢児の待機児童に対し、八千代台南保育園を低年齢児の受け入れに特化した施設とするため、卒園後の受け入れ先として、民間幼稚園との協定を締結しました。 ・老朽化及び耐震不足の公立保育園について、新園舎の建設を行いました。 ○保育所等の定員 平成28年4月時点 2,431人 令和 3年4月時点 3,488人 ・要保護児童対策地域協議会を定期的開催し、児童虐待に関する関係機関との間で意見交換を行うなど、必要な情報を共有し、連携強化に努めました。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行うため、子育て世代包括支援センター「やちっこ」を令和3年3月に開設しました。 ・重症化抑制の効果が認められている任意予防接種の促進を図りました。 ・アプリを活用した乳幼児の予防接種スケジュールや子育てに関する情報提供を行いました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地造成などによる児童数の増加及び女性の社会進出に伴う新たな学童保育ニーズに対応する必要があります。 ・新たな保育所等の整備に当たっては、将来的な乳幼児の減少も見据え、最適な整備手法について検討する必要があります。 ・児童虐待に対する相談体制を強化し、ひとり親家庭に対する相談窓口の周知を図る必要があります。 ・親の子育てに対する不安や負担を和らげるとともに、子どもが安心・安全に過ごせる居場所や異年齢の中で育つ機会を確保する必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズを的確に把握し、対応を図ります。 ・児童虐待の早期発見・再発防止を図るため、関係機関と連携した支援体制の強化を図ります。 ・ひとり親家庭に対し、適切なサービスが受けられるよう、相談窓口の周知を図ります。 ・子育てに関する相談、保護者同士の交流機会の充実及び一時預かり事業などの利便性の向上を図り、子育てに対する不安や負担の軽減につなげます。 ・多様な子どもの居場所の確保に努めます。 							


(No.4・No.8)

重要業績評価指標(KPI)		八千代市が活性化していると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
22.3% (H27年度)	22.3%	24.0%	21.5%	23.5%	25.1%	25.9% (R2年度末)	30% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅰ.若い世代応援プロジェクト Ⅱ.魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市観光ガイドアプリ「ココシルやちよ」において、市内の観光スポットやグルメ情報の紹介を行いました。 ・八千代ふるさと親子祭、八千代どんと祭、源右衛門祭に実施に係る補助金交付による支援や、「ニューリバーロードレースin八千代」の開催を支援しました。 ・本市とUR都市機構の間で「UR賃貸住宅団地を活用したまちづくりに係る包括的な連携・協力に関する協定」を締結し、当該協定に基づき、高津団地における空き店舗の一室を借り受け小中学生のイベントギャラリーを開催しました。 ・商店会等商業団体のイベント実施に対する補助や、市内パン事業者と八千代高校家政科との産学官連携による「やちパンプロジェクト」などを実施しました。 ・京成本線沿線の活性化に向けて、京成電鉄株式会社と包括連携に関する協定を締結しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市が活性化していると感じる市民の割合は向上したところであるが、成熟したまちの活性化や地域の賑わい創出に向けた取組が必要です。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・京成電鉄株式会社及び関係団体との連携を図り、京成本線沿線の活性化に向けた取組をより一層推進していきます。 ・UR都市機構との更なる連携強化を図り、団地再生事業を支援します。 ・商工会議所などの関係機関と連携し、新たな事業展開の促進や賑わいのある商店街の形成など商業振興を推進していきます。 ・関係団体との更なる協力・連携の強化を図り、地域資源を活用した観光の振興を推進していきます。 ・引き続き、八千代ふるさと親子祭などの各種イベント開催を支援します。 							


(No.5)

重要業績評価指標(KPI)		合計特殊出生率							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
1.36 (H26年)	1.45	1.44	1.36	1.40	1.34	1.35	UP (R2年)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅰ.若い世代応援プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の面接を通じた母子健康手帳の交付により、個々に応じたサービスに関わる情報提供をするとともに、妊産婦等の支援に係る台帳を整備し、特に支援を要する家庭に対しては支援プランを作成し、関係機関と連携した支援を行いました。 ・子育て世代包括支援センター「やちっこ」を設立(令和3年3月)し、妊娠・出産・子育てに関する支援体制の充実を図りました。 ・妊婦を対象とした「マタニティ広場」や初めて赤ちゃんを迎える夫婦を対象とした「パパとママの子育て教室」等を開催しました。 ・その他、結婚応援に係る取り組みとして、婚姻届を提出した希望者に結婚記念証を贈呈しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率が一時は上昇したものの、令和2年度実績では基準値より低下しており、誰もが安心して出産・子育てできる環境づくりを着実に推進していく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援の取組みや、子育てで孤立することなく地域とつながる交流の機会を設けるなど子育て相談と交流事業の充実を図ります。 ・各種助成や給付による経済的支援により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。 ・引き続き、計画的に保育の受け皿の確保を進めていきます。 							


(No.6)

重要業績評価指標(KPI)		◆新川周辺が活性化していると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
40.0% (H27年度)	40.0%	45.4%	44.4%	46.1%	49.3%	51.4% (R2年度末)	50% (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ.魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛沼流域かわまちづくり計画に本市も追加登録(平成29年3月)し、水辺拠点「道の駅やちよ周辺(八千代橋周辺)」と一里塚「阿宗橋周辺」を整備することとしました。 ・かわまちづくり計画基本設計(平成29年度)、阿宗橋周辺整備実施設計(平成30年度・令和元年度)、かわまちづくりと後背地の施設を連携したエリアマネジメント調査(令和元年度)、八千代橋水辺拠点整備実施設計(令和2年度～)を行いました。 ・新川周辺の散策モデルコースの紹介や神社・仏閣等の史跡、景観に優れた地域などの観光資源のPRを行いました。 ・八千代ふるさと親子祭やニューリバーロードレースin八千代など新川周辺での開催イベントの支援を実施しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新川周辺が活性化していると感じている市民の割合がさらに向上できるよう、継続的な取組みを実施していく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、印旛沼流域かわまちづくり計画に基づき、令和3年度阿宗橋一里塚整備工事、令和4年度以降に八千代橋水辺拠点整備工事を実施し、拠点の利活用を検討していきます。 ・新川周辺の観光資源について積極的なPR等を行っていきます。 							


(No.7)

重要業績評価指標(KPI)		◆八千代市のイメージがよいと感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
65.5% (H27年度)	65.5%	67.2%	65.9%	66.9%	67.9%	74% (R2年度末)	69% (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市イメージキャラクター「やっち」のTwitterを活用して市の魅力やイベント情報を発信するとともに、「やっち」の着ぐるみで市内外の様々なイベントに参加しました。(H27～R2年度) ・市内高校生を「やっちPR大使」に任命し、ゆるキャラグランプリ出場時の応援活動、やっちをPRするためのパンフレットやTシャツの制作などを行いました。(H29～R2年度) ・市公式のフェイスブック(R2年2月)やTwitter「八千代の魅力 100の質問」(R2年4月)を開始しました。 ・本市出身の女優岩崎ひろみ氏及びお笑いタレント斉藤慎二氏を「やちよPR大使」に任命(H28年度)し、ニューリバーロードレースin八千代や成人式などのイベントに参加(H29年度)いただきました。また、人口20万人到達記念として、動画によるメッセージをご提供いただき、ホームページに掲載しました。(R2年度) 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値には達成しましたが、新型コロナウイルスの影響等によっては、今後、「やっち」の着ぐるみや「やちよPR大使」を活用したイベント数が減少していくことが想定されるため、市のイメージがよいと感じている市民の割合が減少しないよう様々な取組が必要です。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っているフェイスブックやTwitter, LINEでの情報発信に加え、情報発信媒体の拡充について検討していきます。 							


(No.9・No.26)

重要業績評価指標(KPI)		市街地整備の誘導が適切に図られていると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
23.7% (H27年度)	23.7%	—	—	—	27.8%	25.2% (R2年度末)	55% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化 戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西八千代北部特定土地区画整理事業については、平成29年11月17日に換地処分を行い、当該区域における町名地番整理(緑が丘西一丁目～八丁目)を実施しました。 ・大和田駅北側地区まちづくり事業においては、市と地域住民との勉強会を行い、西八千代南部地区まちづくり事業については市街化区域編入に向けて土地所有者にアンケートを行いました。 ・自転車走行空間ネットワーク整備計画を策定し、駅や公共施設等を拠点とした主要路線の自転車通行帯を整備しました。 ・路面標示、防護柵など歩行支援施設整備を実施しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備の誘導が適切に図られていると感じている市民の割合が増えるように、市街地整備に向けた継続的な取り組みが必要です。 ・自転車通行帯や歩行支援施設の整備が必要な路線は未だ多く残っていることから、継続的な整備が課題となっています。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大和田駅北側地区および西八千代南部地区の計画的な市街地形成を図るために、市と地域住民との勉強会等を通して合意形成を図り、様々な手法による検討を行います。 ・自転車通行帯については、自転車走行空間ネットワーク整備計画に基づき、計画的に整備を進めていきます。 ・歩行支援施設については、整備路線の優先度を整理し、計画的に整備を進めていきます。 							


(No.10)

重要業績評価指標(KPI)		緑豊かなまちと感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
76.7% (H27年度)	76.7%	—	—	—	79.7%	75.6% (R2年度末)	82% (R2年度末)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津・里山等の自然環境学習会として自然観察会, 里山学習会, 子ども環境教室を開催しました。 ・ほたるの里を環境学習の場として活用し, 環境整備, およこ生き物探検隊等を行いました。 ・平成29年度より, 市の花「バラ」の普及啓発を目的とし, 新小学1年生へバラ苗の配布を行いました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により, 予定していた講座等が開催できないものがありました。コロナ禍においても, 自然体験の学習の場の提供が課題となっています。 ・市の花「バラ」の普及啓発を目的としたバラ苗の配布については, アンケートを行ったところ様々な意見があることから, アンケートの結果を踏まえ配布対象範囲等について検討していく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に留意しながら, 自然体験の学習の場を提供し, 緑豊かな自然に触れ合える機会の充実を図ります。 ・市の花「バラ」の普及啓発については, 効果的な方法を検討し, 実施していきます。 							


(No.11)

重要業績評価指標(KPI)		子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
59.5% (H27年度)	59.5%	—	—	—	62.5%	59.3% (R2年度末)	70% (R2年度末)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ガキ大将の森キャンプ場」において, 子どもたちが自然の中で遊びながら学べる体験学習の場を提供しました。 ・自然体験の場を提供するため, 「新川わくわくプレーパーク」について日曜・祝日を主として開催しました(県立八千代広域公園の整備のため平成28年8月終了)。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れ合うことの大切さを鑑み, コロナ禍においても, 子供たちが安全して利用してもらう必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じつつ, 自然に触れ合うことを通して子どもが心身ともに健やかに発育・発達できるよう, 引き続き「ガキ大将の森キャンプ場」におけるサービスを提供していきます。 							

(No.12)

重要業績評価指標(KPI)		観光案内・賑わいセンターの利用客数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
0人 (H27年度)	0人	300人	6,488人	6,845人	625人	0人 (R2年度末)	14,400人 (R2年度末)	維持	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市観光協会(旧八千代市観光賑わいセンター)に対して事務スペースの貸出し(令和元年度)を行うことで、支援を行いました。また、当該協会が行うイベントについても後援しました。 ・当該協会の総会、理事会などの会議に本市も出席し、情報共有を図りました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における観光事業の振興がより一層図られるよう、八千代市観光協会との協力体制の強化を図っていく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、八千代市観光協会と情報共有を行うとともに、当該協会が行う事業の周知やPRについて、より積極的に行っていきます。 							

(No.13)

重要業績評価指標(KPI)		まちづくり会社設立							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
0社 (H27年度)	0社	1社	1社	1社	1社	1社 (R2年度末)	1社 (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で自立したまちづくりを進めるため、八千代台まちづくりプロジェクトの商業部会のメンバーを中心に会社を立ち上げました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標としていたまちづくり会社の設立は達成できましたが、会社に対して支援する制度の整備が課題となっています。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社の設立には、地域のまちづくりを主体的に進めることができる自立した地域団体が必要なため、市として可能な限り支援等を行っていきます。 							


(No.14)

重要業績評価指標(KPI)		地域の人材登録件数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
0名 (H27年度)	0名	5名	12名	17名	17名	21名 (R2年度末)	20名 (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅰ 子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化					Ⅱ. 魅力創出プロジェクト				
総括	取組内容	・H28年度の地方創生加速化交付金事業において、八千代台まちづくりプロジェクトを設立し、その中で人材登録を進めました。その後、イベントやまちの情報誌に関わる人材など、地域のまちづくりに寄与できる人材発掘を進めました。							
	課題	・地域のまちづくりに取り組む団体への立上げや活動を支援することを目的とした「(仮称)八千代市地域まちづくり推進要綱」の検討に合わせ、本要綱を補完するものとして、人材登録の制度化を検討しているところですが、本要綱で定めるまちづくり団体を担えるような団体が現れていないため、策定までには至っていない状況にあります。							
	今後の対応	・「(仮称)八千代市地域まちづくり推進要綱」で定めるまちづくり団体を担えるような団体が現れたときに、スムーズに本要綱を策定できるよう、引き続き、要綱案の検討を進めていきます。							


(No.15)

重要業績評価指標(KPI)		◆工業の年間商品販売額							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
21,579,621万円 (H25年度)	21,579,621万円 (H25年度実績)	22,771,249万円 (H26年度実績)	25,068,059万円 (H27年度実績)	25,355,328万円 (H28年度実績)	25,980,449万円 (H29年度実績)	28,039,080万円 (H30年度)	KEEP (H30年度)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅲ. しごと応援プロジェクト				
総括	取組内容	・商工会議所と連携し、経営力強化関係・創業セミナーを開催しました。 ・金融機関と協調して、貸出利率を引き下げるとともに利用可能枠を広げることで、市内中小企業の資金調達を支援しました。							
	課題	・国における二酸化炭素排出量削減の目標達成に向けた政策による影響がどのようなものか懸念されます。 ・平成30年度における工業の年間商品販売額が維持されるよう、国の動向を注視しつつ、継続的に支援していく必要があります。							
	今後の対応	・引き続き、商工会議所との連携や産官学連携を通じて、工業の振興に向けた取組みを推進していきます。							


(No.16)

重要業績評価指標(KPI)		◆ひとり親家庭の就業率							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
88.8% (H26年度)	90.7%	90.8%	91.5%	90.5%	91.6%	90.6% (R2年度末)	92% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅲ.しごと応援プロジェクト				
総括	取組内容	<p>・求職活動を行っている児童扶養手当受給者に対し、ハローワーク船橋と連携して、出張ハローワークを設置しました。</p> <p>・ひとり親家庭等自立支援給付金の交付など就労に必要な技能や資格を取得するための支援を実施しました。</p>							
	課題	<p>・高校を卒業した児童を養育しているひとり親は、児童扶養手当の受給資格を喪失し、手当を受けることができなくなることから、手当を受給できなくても自立した生活を送れるように、長期的な視点に立って自立・就労に係る支援を行う必要があります。</p>							
	今後の対応	<p>・令和4年4月1日から母子・父子自立支援プログラム策定事業を開始する予定です。本事業は、児童扶養手当受給者等のひとり親の自立を促進するため、母子・父子自立支援プログラムを策定し、ひとり親を支援する関連事業を活用しつつ、きめ細やかで継続的な自立・就労支援を実施するものです。本事業を通して、就業率を上げることに留まらずひとり親世帯が安定した生活を送ることができるよう支援していきます。</p>							


(No.17)

重要業績評価指標(KPI)		認定農業者数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
78人 (H26年度)	80人	86人	81人	84人	93人	95人 (R2年度末)	93人 (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅲ.しごと応援プロジェクト				
総括	取組内容	<p>・既存の認定農業者に対しては、5年間の認定期間満了による失効とならないよう再認定を促し、若手農業者に対しては、新規認定となるよう認定農業者制度の周知を実施しました。</p>							
	課題	<p>・既存農業者の高齢化や、若手農業者が新たな担い手として定着しにくいといった現状があり、認定農業者数が頭打ちとなる可能性があることから、既存の認定農業者の更新及び若手農業者の新規認定の増加を図る必要があります。</p>							
	今後の対応	<p>・引き続き、制度の周知を行うとともに、本市の営農環境にマッチした新規就農を推進していきます。</p>							


(No.18)

重要業績評価指標(KPI)		シルバー人材センター登録者数							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
600人 (H26年度末)	655人	648人	613人	631人	656人	621人 (R2年度末)	800人 (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅲ. しごと応援プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就業機会を確保するよう、シルバー人材センターの運営費について補助金を交付しました。 シルバー人材センター会員数の増加のために、同センターのPRに努めました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 会員数は着実に増加してきましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、外出や活動を自粛した影響で伸び悩みました。 同センターの存在が市民にあまり浸透していないという現状も要因の一つとして考えられることから、同センターの更なるPRが必要です。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 市民により身近な存在として感じてもらえるよう、公民館で入会説明会を開催することや支所等でチラシ・ポスターを配架するなどして、同センターのPRに努めていきます。 							


(No.19)

重要業績評価指標(KPI)		◆地域医療体制が整っていると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
52.2% (H27年度)	52.2%	—	—	—	52.4%	52.5% (R2年度末)	60% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 本市と学校法人東京女子医科大学との間で締結した基本協定に基づき、八千代医療センター整備事業及び同センターで実施する救急医療事業等に対して助成を行いました。 休日・夜間診療体制を確保するため、八千代市医師会や八千代市歯科医師会の協力を得ながら、夜間救急急病待機・休日在宅当番医の業務委託、テレホン案内などを行いました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市としては、八千代医療センターが地域医療連携に係る中核病院として機能し、初期医療から高度・専門医療にいたる救急医療体制を確保できているものと認識していることから、当該医療体制を継続していく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 八千代医療センターを中核とした地域医療体制を継続できるよう、引き続き、八千代医療センターに支援を行います。 引き続き、八千代市医師会、八千代市歯科医師会及び八千代医療センターの協力を得ながら、夜間休日の医療体制を維持していきます。 							


(No.20)

重要業績評価指標(KPI)		◆地域消防・救急体制が整っていると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
44.2% (H27年度)	44.2%	41.8%	41.1%	41.9%	43.7%	53.2% (R2年度末)	50% (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	当該指標に関する取り組みとして、消防・救急活動を行う上で必須となる消防車両の更新・増強を行いました(8台:高規格救急自動車4台・水槽付消防ポンプ自動車1台・消防ポンプ自動車3台[常備1台・非常備2台])。							
	課題	・目標値は達成したところですが、複雑化・多様化する災害に対応するため、消防車両の更なる整備が必要です。							
	今後の対応	・車両更新計画に基づいた車両整備に努めていくとともに、車両更新基準を超過した車両の活用を図っていきます。							


(No.21)

重要業績評価指標(KPI)		◆災害に備えた対策が適切に行われていると感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
19.0% (H27年度)	19.0%	22.1%	17.0%	18.0%	20.7%	32.6% (R2年度末)	33.9% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	・八千代市防災備蓄計画に基づき、発災からの3日間における被災者等の生命維持に最低限必要な物資等を計画的に備蓄しました。 ・コロナ禍における避難所の衛生及び感染対策物資の整備を行いました。							
	課題	・八千代市防災備蓄計画の整備数量を確保できていない品目については、優先的に備蓄していく必要があります。							
	今後の対応	・引き続き、関係部局と協議しながら、災害時に必要な物資の備蓄を行っていきます。							


(No.22)

重要業績評価指標(KPI)		地域活動に積極的に参加していると考えられる人の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
18.1% (H27年度)	18.1%	19.4%	17.5%	19.0%	19.2%	18% (R2年度末)	50% (R2年度末)	低下	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津・里山等の自然環境学習会として自然観察会, 里山学習会, 子ども環境教室を開催しました。 ・ほたるの里を環境学習の場として提供し, 環境整備, およこ生き物探検隊等を行いました。 ・谷津・里山保全計画に基づく生物多様性保全への取組みの推進として, 里山楽校(里山整備ボランティア人材育成講座)等を開催しました。 ・地域福祉団体の活動を支援するため, 地域福祉団体がふれあいプラザを利用する場合や, 行事を行う場合にバスを運行しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により, 予定していた講座等が開催できないものがありました。また, 地域福祉バスの利用のキャンセルにより, 運行数が減少しました。 ・新型コロナウイルスの感染拡大があった際にも, 地域活動への参加がなされることが課題です。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に留意しながら, 環境学習の講座等の実施や地域福祉団体の活動支援など, 地域活動への参加が促されるよう取組みを推進していきます。 							


(No.23)

重要業績評価指標(KPI)		公共交通不便地域における高齢者が移動しやすいと感じる割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
14.2% (H27年度)	14.2%	14.0%	12.2%	15.3%	17.5%	19.7% (R2年度末)	23.5% (R2年度末)	向上	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月から, 鉄道駅やバス停留所から一定程度離れた区域に居住している高齢者を対象に, タクシー利用助成券を交付することで, 移動手段の確保を図りました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月末までにタクシー利用助成券を延べ1,854人に交付し, 利用率も毎年35%前後となっており, KPIも年々上昇しておりますが, 居住地によっては移動支援を必要としている高齢者にタクシー利用券を交付することができないことから, 更なる利便性の向上を図る必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通施策の推進状況を踏まえた上で, 他の同様なタクシー券事業と一体的に本事業の見直しを行っていきます。 							

(No.24)

重要業績評価指標(KPI)		防災・生活情報が得やすくなったと感じる割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
28.2% (H27年度)	28.2%	30.0%	25.8%	25.8%	27.8%	37.5% (R2年度末)	33.3% (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・警戒レベルを用いた避難情報や地震情報等, 防災に関する情報を市民の携帯電話及びパソコンに配信し, 周知を図りました。 ・「やちよ情報メール」配信サービスを利用し, サービス登録者である市内在住外国人の携帯電話等へ多言語による災害情報等の配信を行いました。 ・市民や旅行者など誰でもスマートフォンやパソコンから手軽に, 地震, 水害, 土砂災害についての危険箇所や避難所等を確認することができるよう, Web版防災ハザードマップを整備しました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に達してはいるものの, 市民の防災・生活情報が得やすくなったと感じる割合がさらに向上するよう, 継続的な取組が必要です。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き, LINE, Twitter, 八千代防災情報メール等を活用し, 防災情報の周知を行っていきます。 							

(No.25)

重要業績評価指標(KPI)		住んでいる地域に犯罪が多いと感じている市民の割合							
基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	達成区分	
25.4% (H27年度)	25.4%	—	—	—	21.8%	23.8% (R2年度末)	DOWN (R2年度末)	達成	
戦略					プロジェクト				
戦略Ⅱ 仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ					Ⅳ. 環境整備プロジェクト				
総括	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線により防犯情報を放送し, 啓発に努めました。 ・防犯カメラや防犯灯といった防犯設備の設置に取り組みました。 							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を達成したところですが, 犯罪が多いと感じている市民の割合が更に減少するよう, 継続的に取り組んでいく必要があります。 							
	今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き, 防犯パトロール物品の貸与を行い, 防犯パトロール隊の活動を支援します。また, 自治会等が行う防犯カメラの整備にかかる補助制度の周知を行い, 設置を促進していきます。 							